

せんきゅうのナミハダニ（新寄主）

令和6年8月、十勝地方の露地栽培のせんきゅうにおいて葉がかすり状に退色する症状が発生した。中には葉が褐変・枯死したり、クモの巣のような糸で覆われる株も見られた。葉裏には黄緑色のハダニ類の寄生が認められ、成虫の体色と形態から本種をナミハダニ *Tetranychus urticae* Koch 黄緑型と同定した。本種は各種果樹、野菜、花卉など多数の植物に寄生することが知られている。

（十勝農試）



せんきゅうのナミハダニ（十勝農試 村田 原図）